平成27年度 第6回富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録										
日	時	平成2	27年12月2	2日 (火)	開 会 午後 閉 会 午後					
場	所	全員協	議会室	出席者数	委員定数:	12名中	出席者10名			
出席者	委		鏡会長、昼間副会長、根岸委員、金子委員、齋木委員、 関根委員、長南委員、深野委員、星委員、森田委員 ※欠席 岩村委員、吉田委員							
	事 務 局		【事務局職員】 島田総合政策部長、水口政策企画課長、磯谷政策企画課副課長、 高野政策企画課主任 (株富士通総研 若生							
配付資料		資料	第6回富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 次第 資料 富士見市キラリと輝く創生総合戦略(案) 追加資料 独自推計の変更(案)と将来展望の変更(案)の比較について							
公開· 非公開		公界	公開(傍聴 5 名)							

会 議 事 項									
1 開会 総合政策部長									
2 会長あいさつ 鏡会長									
3 議事									
(1)総合戦略(案)について									
資料に基づき事務局から説明。また、追加資料に基づき人口推計(案)の考え方に									
ついて事務局から説明。									
<u>質疑応答</u>									
会 長:骨格は変更されていないが、人口推計や施策・事業の一部追加・修正などが									
されている。KPIも詰め切れていないところがあるようだが、各委員から									
提案や意見があればお願いしたい。									
副会長:内容的には、安定的な計画になった印象がある。									
○P.37の図表中「人口の将来展望による推計」は説明が必要ではないか?									
○合計特殊出生率1.8を目指すことは県内他自治体でも採用しているか?									
○シミュレーションはマニュアル等で必ずやるべきものになっているのか?									
○シミュレーションの結論がP.16と一部重複しているので工夫できないか?									
○P.63のKPIでイベント回数の目標値は、年間なのか5年間累計なのか?									
○P.64・65のKPIで待機児童数の目標値は、もっと積極的に表現していい									
のではないか?									
○P. 65の取組事業の3歳児健診のフッ化物塗布と、KPIの小学生の健康な									
歯を持つ割合との関係性を整理する必要があるのではないか?									
○P.67のKPIで中央図書館のみで利用者を増やしていけるのか?									
○P.72 の地域コミュニティの推進については、協議会とだけの協働なのか?									
事務局:○人口の将来展望による推計の書き方は工夫したい。									
○南西部地域の自治体は、合計特殊出生率 1.6 か 1.8 を採用して将来展望を									
推計していることが多い。									

	会	議	事	項
○シミュレーション	は、国	のマニ	ュアル等	で定められているが、結論部分の
表現についてはエ	夫したい	<i>ر</i> ر <sub>°</sub>		
○それぞれのK P I	につい	ては再月	度整理し	たい。
○協議会の立ち上げ	`を支援`	する施賃	策として	整理している。
会 長:国においては、総合	戦略は	民間団体	本や企業	との協力関係により推進していく
考えがあると思う。	当審議	会でもる	あるべき	姿を議論してきたが、提示された
総合戦略(案)は行	政計画	の色彩を	が強く、	新しく基本計画を策定した印象で
ある。民間団体とコ	ラボレ	ーション	ンするな	ど、実施主体を明示すれば、より
生きた計画となり、	実現性	も高まれ	るのでは	ないか?これまでの行政計画とは
違うというイメージ	を示せ	ないかり	?	
事務局:施策・事業の推進に	あたっ゛	ては、	民間団体	や市民の力により推進していく、
などの表現を入れ、	理念と	して明確	確になる	よう工夫したい。
委 員:○意向調査結果は参	考資料	として征	<b>後半にお</b>	
○KPIについて、	満足度、	で施策	犬況を計	れるか疑問であり、具体的な指標
を検討してほしい	·o			
OP. 77 のK P I で、	遊休農	地解消	の目標値	直は、市がより取り組む姿勢を見せ
たほうがよい。				
○P. 64 の取組事業で	、実施	中の第	2子への	)支援も表現すべきではないか?
委 員:第2子への支援の話	iは、P	R効果。	として例	えば前文に追加してはどうか?
事務局:○構成についてはエ	夫したい	<i>ر</i> ر <sub>°</sub>		
○KPIはアウトカ	ム指標だ	が基本。	となるが	
○遊休農地解消の目	標値は	<b>听管課</b> 。	と再度調	整したい。
○第2子についての	表現は	検討した	たい。	
委 員:○環境基本計画では	、市民	草の根	で取り組	んでいくものだという意見があり、
「我々」という表	現を使	った。こ	そのよう	な工夫も必要ではないか。
○各施策のKPIが	達成され	れると	全体の数	 値目標に到達すると思うのだが、
どうなのか。				
○P. 69 の取組事業は		年の家	」の話か	5出ているが、市の考えはどうか?

# 会 議 事 項

また、びん沼自然公園の魅力向上の話は、単にイベント等を開催するので はなく、自然環境を維持し自然研究の場だと明記してほしい。

事務局:○旧青年の家を放置したままにはできないため、解体に向け県に働きかけを 行うとともに跡地活用についての検討をはじめている。びん沼自然公園は 事実として自然環境を保全しており、さらに魅力を伸ばしていくにはどう するか、と考えている。また、エリアを広げ南畑地域全体での魅力向上に ついての検討も長期的視点で考えていきたい。

委員:そのことを分かるように表現してほしい。

事務局:○資格取得支援も検討はしたが、仕事につながるものであれば取り組みやすいとは思うが、潜在看護師については表現していない。庁内では資格取得の学校誘致などの意見も出た。

委員:保育士資格があって1年間学校に通うと、介護福祉士の資格が取得できる。 市内就職を条件とした奨学金制度などはできるのではないか。2つの資格を 持てばキャリアアップになるし、健康指導など働ける分野が広がる。また、 少しでも働いてみませんか、という働きかけもできるのではないか。

委 員: KPIの値と基本目標の目標値の関係について、委員各位はどう思うか?

委員:この計画は行政のものになっており、KPIも行政のもの、というイメージをもってしまう。市民が監視していく気持ちになっていない。市民が生活の中で、これらの計画を身近に感じ、振り返りの場をつくるべきではないか。例えば、広報で、各種事業に計画の種類を示すアイコンをつけるなどができるのではないか。

会 長:各種計画は、PDCAサイクルにより見直し・評価をしていく必要がある。 様々な団体とコラボレーションしながら事業を進めると、計画・管理された とおりには進んでいかない。通常は職員の見立てだと思うが、まち・ひと・

#### 会 議 事 項

しごとの大きな流れの中で、指標をたてるのは非常に難しい。計画の方向性 は市民と行政が共有し、進行管理は行政が実施するのは分かりやすいと思う。

要 員:もっと夢のある計画になるのではないか、と思っていた。夢の部分をもっと 盛り込んでもらいたい。また、前回配付された構成素案の表を、早わかり表 のように織り込めないものか?

会 長:数値目標やKPIは、基本、行政に作成を任せていいのではないか。提案が あれば1週間程度で事務局に提出してほしい。

事務局:計画の策定過程で夢の視点をいれて反映していったが、KPI等を考えると 現実路線に落ち着かざるを得ない部分もあった。総合戦略の進行管理は、国 の考えもありPDCAサイクルに基づいて進めていく。総合戦略は策定して 終わりではなく、検証しながら改善していくものだと考える。

事務局:目標値とKPIを全て達成し、目標が達成できるものもあれば、そうでない ものもある。総合力をあげて取り組んでいく考えでいきたい。

委員:簡易版を作成し、内容を深掘りしたいときに詳細版を見る形式にしてはどうか?簡易版を正式版にできないだろうか。また、絵で示したものを作成するなど誰にでもわかりやすい資料づくりをする姿勢が必要ではないか。

季 員:概要版等の見やすい工夫はぜひお願いしたい。AETだけではないが、地域 の人材活用は必要になると思う。

事務局:概要版をどう作りこむかは内部で研究したい。

 委員:近隣他市町は将来目標人口が増加するとしている。市の姿勢として、将来、

 人口が減少しない、ということを示すのは大事ではないか。

事務局:将来人口については、各市町がそれぞれの実情に応じて作成しているもの。 現状の数字と根拠をみながら、理論的にどう組み合わせるかが難しいところ だと思う。合計特殊出生率1.8もかなり思い切ったものだとは思う。

委員:高齢化が進み、農地を活かせない農家が増えていくのではないか。自分では 耕作せず貸し借りし、相対での耕作が増えている。実態の農地がどうなって

# 会 議 事 項

いるのかを深掘りするべきではないか。遊休農地は増えていくと思う。

事務局:遊休農地については、言葉の定義も含め所管課と再度整理したい。

会 長:他に意見があれば、事務局へ年内までに意見を提出してほしい。パブリック

コメントの実施までに反映していただきたい。

#### (2) 今後の予定について

事務局:1月19日から約1か月間、パブリックコメントを実施する。最終的な形と 市長への答申案を委員各位に確認いただきたいので、3月に審議会の開催を お願いしたい。

会 長:3月8日(火)の午後に第7回の審議会を行いたい。

事務局:開始時間については、議会等もあるため調整次第連絡したい。

### 4 閉会 昼間副会長